

加齢による認知機能トラブルのサインとは？

動物行動学者は、加齢に伴う行動の変化を5つのカテゴリーに分類しています。

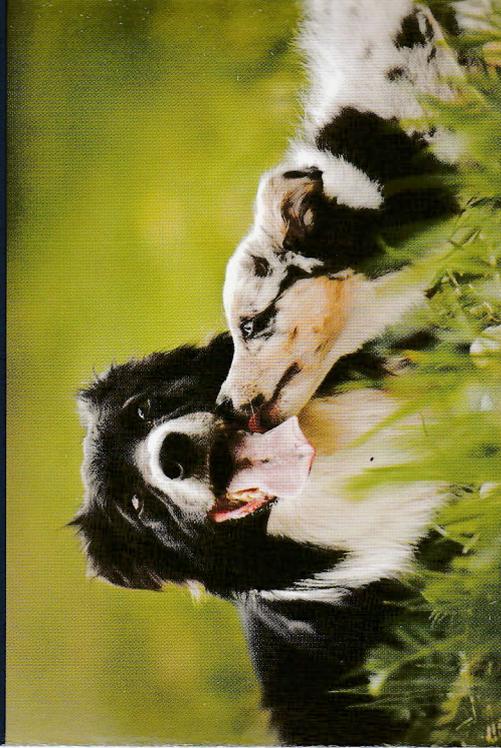
カテゴリー	変化の例
見当識障害	よく知っている人、同居のペット、場所などを認識できなくなる よく知っている場所で迷子になる
社会的行動の変化	挨拶行動や遊ぶことに興味がなくなる 過剰な甘え行動や、要求吠えが多くなる 無駄吠え、無駄鳴き
睡眠リズムの変化	眠りが浅い、夜中の徘徊が増える 昼間や一日の睡眠時間が長くなる
トイレの粗相	決められたトイレで排泄ができず、家中のあちこちで排泄してしまう 排泄のサインがわかりにくくなる
活動性の変化	うろろしたり、同じ場所を行ったり来たりして落ち着きなくなる 元気がなくなる、物事に関心を示さなくなる



獣医師が AKTIVAIT® (アクティベート) を勧める理由

AKTIVAIT® (アクティベート)は犬の脳サポートに特化した栄養補助食品です。

抗酸化物質として知られるビタミンC、ビタミンE、セレニウム、コエンザイムQ10と、脳細胞の健康維持に大切なアミノ酸、リン脂質および魚油を含有します。



AKTIVAIT® (アクティベート) 給与の推奨症例

加齢による認知機能の低下は、時間の経過と共に悪化していきます。愛犬に何らかの兆候が見られたら、すぐにAKTIVAIT® (アクティベート)を始めていただくことをお勧めします。また、より長く元気な脳にいるために、老化のサインが徐々にあらわれる中、年齢からのご使用もお勧めです。

AKTIVAIT® (アクティベート) の給与方法

AKTIVAIT® (アクティベート)は便利なカプセルタイプのサブミメントです。カプセルを開けて中身をフードに混ぜるか、カプセルのまま与えてください。

他にあげられることはありませんか？

- 適正体重を保ち、適切な食事を与えましょう。やせ気味や太り気味に気がついたときは、かかりつけの獣医師に相談してみましょう。
- 1日3〜4回の短い散歩につれていきましよう。1回の長い散歩をおこなうよりも、運動の面でも、脳への刺激を与える意味でも効果的です。
- 「おすわり」や「お手」などの簡単な指示に応えられたら、撫でてあげたり、おやつやおもちゃなどのご褒美をあげましよう。
- 投げたおもちゃを取りに行く遊びなどをして、脳に刺激を与えましよう。きちんと取ってくるのが出来たらたくさん褒めてあげましよう。
- トイレの失敗が増えても決して叱らないでください。起床後、運動後や食後など、生活の中で排泄のバターンが決まっている子の場合、飼い主さんが気配を察してトイレまで誘導してあげましよう。トイレを広くあげるなどの方法も有効です。
- 愛犬の聴力や視力が落ちたと感じたら、指示を出すときはシンブルで分かりやすい方法にしましよう。

